



# みんなでつくるばんどう未来ビジョン 各種政策に取り組んでいます

仕事政策 産業・雇用

市では、先人達が培ってきた農業の技術や知識、経験などが活かせる就農機会を確保するとともに、若者がチャレンジできる就業環境づくりに取り組み、市民のみなさんが自分らしく活躍できる「活力あふれるまち」を目指しています。また、住み慣れたまちで働き続けられるよう、農業や商業、工業などのあらゆる分野の「仕事づくり」に取り組んでいます。

## ●主な取り組み

### 農業振興支援と「坂東ブランド」PR

市の基幹産業である「農業」を未来にも活かしていくため、JA岩井の野菜予冷センターの整備や新規就農者、担い手確保の支援に取り組むとともに、田畑の整備を行っています。

また、農家のみなさんを応援する気持ちを込め、市内イベントのほか東京ドーム、日本橋、全国ねぎサミット、さしま茶T-1グランプリなど10か所で、関係団体と協力し「坂東ブランド」の戦略的なPRや知名度アップのセールスを行っています。



▲豊洲市場でのトップセールス

## 自分の興味や地元地域で経験したことが やりがいのある将来の職業に繋がっています

「角光化成(株)緑の里工場」に勤務する  
大野のあさん



### 坂東インター工業団地の雇用を確保

圏央道の利便性を活かし、坂東インター工業団地では積極的な企業誘致に取り組んでいます。

造成済の区画すべての分譲契約が成立し、すでに6社が操業を開始しています。今後も市内における雇用の機会と安定的財源の確保を図っていきます。

昨年4月、興味のある会社に就職しました。家から近いので通勤に時間もかからず、家族も安心しています。新しい工業団地内の環境は十分すぎるほどです。地元の人も多く、働きやすい職場です。仕事も充実しています。

### 自分の夢と経験を地元「坂東」で活かす

市では、地元で学び、地元で働く若者を応援しています。今月岩井高校を卒業し、4月からつくばハイテクパークいわい内の食品会社に就職が決まった内田遥我さんにお話を聞きました。

中学生の頃から調理が好きでした。高校2年から「総合コース教養系」を選択し、「ばんどう学」の授業では、食品系事業所の実習体験を通して、「チームワーク」と「信頼関係」の大切さを学びました。坂東市は人が温かくて安心感があります。市内で就職しようと決めました。



※「ばんどう学」とは、地域社会との「つながり」「かかわり」を重視した、さまざまな実体験型学習活動です。

■4月開校の坂東清風高校には、多様な「進路」ニーズに対応するカリキュラムがあります。詳しくはこちらから→



みんなでつくる やすらぎと生きがい 賑わいのある都市 坂東をめざして…